

令和元年度

学び方の基本

印西中学校の学力向上を目指して



印西中学校 名前

授業のポイント 10 学力向上のために

1. 2分前に着席し、準備をしよう。
2. 授業の挨拶をしっかりしよう。
3. 授業の「学習目標」を確認しよう。
4. 先生や友人の話を真剣に聞こう。
5. よりよい質問や発表を積極的にしよう。
6. ノートは、授業を再現できるよう、しっかりとろう。
7. 何を学習したのか「振り返り」をしっかりしよう。
8. 課題は確実にやりとげよう。
9. 忘れ物は絶対に無くそう。
10. 提出物は期限内に出そう。

家庭学習のポイント 10

* まず学習の基本

1. 自分の机でやろう。
2. 一人でやろう。
3. 学習のじゃまになる物は片付けてやろう。
4. 毎日決まった時間に始めよう。
5. 時間の長さより集中して取り組もう。
6. 疑問点は先生にすぐ聞こう。
7. テレビ・ゲーム・スマホは時間を決めよう。
8. リズムを創ってやろう。(1時間学習、10分休憩)
9. 宿題は先に片付けよう。
10. 学び方の基本を元に自分なりの学習方法を確立しよう。

* 学習支援ソフト「ラインズ e ライブラリアドバンス」を活用しよう

本校では、学校のパソコンや自宅のパソコン・タブレット PC・スマートフォン等を活用して学習できる学習支援ソフト「ラインズ e ライブラリアドバンス」を導入しています。「ラインズ e ライブラリアドバンス」は、ドリル教材を利用した家庭学習機能を有しており、生徒が「家庭学習の習慣化」や「基礎・基本の定着」、「発展的な学習」、「実践的な入試対策」などに取り組めるようになっております。学校での学習とあわせて、ご家庭でも予習・復習などに、活用すると確実に学力が身につきます。印西中学校のホームページから ID カード（配布済）に記載のパスワード等を入力、ログインしてください。

授業の受け方

国 語

- ・毎時間の学習目標を意識して学習する。
- ・教科書を正確に読めるようにしてくる。(漢字につまずかないように)
- ・どんな課題にもしっかり取り組み、「考え方」を身につける。
- ・自分の意見や考えを積極的に発表し、他の人の発表もよく聞く。
- ・先生の説明をよく聞き、ノートやプリントを見直し、よりよい表現や考え方などを取り入れていく。
- ・板書したことを写すだけでなく、ノートの内容を充実させていく。

社 会

- ・毎時間の学習目標を意識して学習する。
- ・学習課題、まとめは色ペンを使い、線引きで囲む。
- ・ノートを用意し、板書を参考にして、授業内容をまとめる。
ノートには、疑問点、気づき、メモなどを記す。
- ・話し合い活動では、班員の意見を真剣に聞き、考えの幅を広げる。また、自分の意見を意欲的に述べ、話す力を身につける。班員、または級友の意見を聞き、自分の考えと比較し、内容をまとめる力を身につける

数学

- ・毎時間の学習目標を意識して学習する。
- ・板書を参考にして、授業内容をノートにまとめる。
- ・ノートには、疑問点、気づき、メモなどを記す。
- ・ノートの取り方の工夫をする。(色の使い方、補足説明、間違いに気づく工夫)
- ・なぜ、そうなるのか、根拠(理由)をはっきりさせながら考える。
- ・計算問題も答えにいたるまでの根拠を計算過程として表現できるようにする。
- ・余裕があればワークなど違う問題に取り組む。

理 科

- ・毎時間の学習目標を意識して学習する。
- ・予習の意味で、その日の授業に関係する教科書のページを読んで授業を受ける。
- ・板書を参考にして、ノートに学習内容をまとめる。ノートには、疑問点、気づき、メモなどを記す。
- ・理科室には危険薬品や扱い方に注意を要する器具があるので動き回することは厳禁。

英 語

- ・毎時間の学習目標を意識して学習する。
- ・プリントはファイルに綴じ、きちんと保存する。
- ・ノートは自分で作る参考書にするつもりで作成する。

(黒板を書き写す。先生の話を書き込む。単語練習するなど)

- ・先生やCDの発音の真似をする。
- ・たくさん話す。間違いを恐れない。間違いを笑わない。
- ・提出物は期限をしっかりと守る。

音 楽

- ・毎時間の学習目標を意識して学習する。
- ・授業に必要な学習用具をきちんとそろえる。
- ・苦手でも、まずはやってみよう。
- ・好きになってみようという前向きな気持ちを持つ。
- ・「授業をしっかりと受ける」という意識を大切にする。

美 術

- ・題材についての目標を持ち、考え、工夫を重ねながら取り組む。
(制作過程での様々な工夫を重ね「面倒くさい」といって、途中であきらめしないで粘り強く制作していく。)
- ・目標実現の為に、授業に必要な資料、材料、用具などの忘れ物をしない。
- ・グループでの活動は協力して行う。
- ・周りの品物などに落書きをしない。
- ・刃物の使い方に注意する。
- ・自分の作品と同じに友達作品も大切に扱う。
- ・使った後始末を協力して行う。

保健体育

- ・実技中心である為、まず参加することが第一。
- ・実技にふさわしい服装で参加すること。
- ・開始時刻には集合し、スムーズに準備運動に入り、リーダーの指示をしっかりと聞き、安全に運動することが出来る心がけが必要。
- ・準備や後始末またそれぞれのルールや約束を守り、協力して運動に取り組み、自分の目標に向かってやり遂げる意欲を大切にする。
- ・忘れ物をしないで自他の健康安全に責任を持って参加する。

技術・家庭

技術・家庭科は、自分や周囲を取り巻く生活をしっかり見つめ、健康で安全そして快適に生活していくための、知識や技術を身につけるために学習していく教科です。自分の身近な生活の中から問題点を見つけ、自分の生活に戻して活用していくためにも積極的に取り組んでいきましょう。

- ・毎時間の学習目標を意識して学習する。
- ・道具・用具をきちんとそろえる。
- ・積極的に取り組む。
- ・安全に気をつけよう。
- ・道具・用具・教室を大切に使おう。

家庭学習これだけは

国 語

- ・次の授業の範囲を必ず読む。(すらすら読めるように)
- ・語句の意味はしっかり調べ覚える。
- ・漢字練習は、新出漢字のみならず本文に出ている漢字は全て読み書きが出来るように、繰り返し行う。(一度練習して終わりにしないこと)
- ・課題が出ているときは、必ず取り組む。ただ「こなす(やり終える)」事だけを考えずに「頭に入れる」「技術を磨く」という心意気で行う。
- ・普段からよく本を読み、豊かな表現や言葉に触れる。

社 会

- ・教科書を「読める」→「書ける」→「わかる」の三段階を大切にする。
- ・教科書を事前に声を出して読む。
- ・重要語については、漢字で書けるようにして、自分の言葉で簡単に説明できるようにする。
- ・出来事の流れ、用語、理由を関連付けて学習する。
- ・新聞やテレビのニュースに関心を持ち社会の動きを知る。

数 学

- ・計算練習や基本問題の練習。
- ・計算は、答だけでなく、考え方の途中過程が伝わるように書いてみる。
- ・できた問題とできなかった問題をはっきりさせる。
- ・できなかった問題に改めて取り組み、できるかどうかを確認する。
- ・授業内容の復習。(疑問を残さない、何がわからないか明確にさせる)

理 科

- ・身の回りの現象に心を配り、「なぜ？」という疑問を大切に、折に触れて解決しようとする探求心を持続ける。
- ・授業ノートを見ながら学習課題を振り返りながら、授業の復習をする。学習する中で出てきた用語の意味、数式の意味を理解しているか確認する。教科書を読み、必要に応じてノートに記述を付け足しておく。
- ・問題集(ワーク)に取り組む。

英 語

- ・声を出しながら学習する。
- ・宿題はその日の内に必ずやろう。
 1. その日、学習した教科書の音読は、10回以上。
 2. その日、学習した単語や文章は、何回も書く。
 3. その日、学習した内容は、ワークで必ず確認する。

定期試験に向けての学習法

国 語

- ・漢字は根気よく反復練習し、完璧にしておく。
- ・ワーク（学習・漢字・文法）を使って、問題を解く練習をする。答え合わせの時は、なぜその答えになるかを理解して進める。
- ・ノートやプリントを見直し、授業でやったこと（新しい知識や考え方）を復習する。

社 会

- ・ワークを活用し、繰り返し練習する。満点とれるまでチャレンジする。
- ・ノート提出やレポート提出があるので、ノートには学習の足あとが残るよう、日頃からまとめておく。
- ・社会では、教科書1ページあたりの重要語は、1～2語程度です。漢字で書けること、意味を自分の言葉で説明できるようにする。
- ・時事問題があります。教科書を丁寧に読み、新聞やテレビのニュースをチェックし、自分の言葉で表現できるようにする。

数 学

- ・ノートや例題を確認する。なぜ、そうなるのか根拠を確認する。
- ・ワークなどを活用して、出来るだけ多く問題練習をする。わからない問題は解答を読みながら、解く。
- ・間違えた問題はやり直しをし、どこで間違えたか確認する。
- ・間違いを繰り返さないように、わかるまで確実な取り組みをする。

理 科

- ・テストは現象を提示したり、実験装置を提示し、それを中心として問題を構成している。
 - ・実験の結果を覚えておくこと。また、結果を基に考えられる規則や法則や考察をしっかりと答えられるようにすること。
- 実験観察装置、薬品、安全のための配慮、器具の扱い方の注意点を復習し、理解しておくようにする。またその観察や実験によって明らかになったことは何か。復習しておくこと。
- ・テスト範囲に関する問題(ワーク)を3回以上解くこと。

英 語

- ・授業内容を振り返る。(自分の作ったノートを参照)
- ・教科書を何回も読み、本文や重要構文を理解する。
- ・ワークの問題をもう一度やって、自分の理解を確認する。
- ・学習した英語を使って、自分なりの表現(文章)が書けるようにする。
- ・英語を理解する学習を心がけよう。